

かんてつ 通信 貫徹

発行責任者：藤沢市議会議員 おおや 徹

2月 定例議会報告

発行日 2018年4月【第34号】
発行者 大矢 徹(おおや とおる)
連絡先 藤沢市鶴沼藤が谷4-17-5~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062

<http://www.ohyatoru.com>
[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

任期もあと一年弱となり
ますが頑張ります!



湘南海岸公園駅にて貫徹配布

2月藤沢市議会定例会が、2月15日から3月20日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成30年度一般会計予算他9特別会計予算、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算、工事請負契約の締結（藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事）、特定事業契約の締結（藤沢市藤が岡二丁目地区 再整備事業）、藤沢市個人情報情報の保護に関する条例の一部改正などです。私は、市側が提案した議案に賛成し、全て可決されました。

なお、平成30年度一般会計予算は、1,385億5,300万円(前年比90.7%)、特別会計予算は、1,189億3,916万8千円(前年比89.7%)、総額は、2,574億9,216万8千円で、前年比90.2%となりました。

【平成30年度予算に対する意見・要望】

平成30年度予算に対して、各会派の討論が行われ、私が所属する「民主クラブ」からは、脇礼子議員が賛成の立場で討論を行いました。概要は次のとおりです。

(1) 行政と政治について

森友学園の公文書改ざんは、民主主義の根幹を覆すもので、歴史の改ざんに他ならない。本市においても善行土地問題があったが、改めて政治家と公務員の関係のあり方が問われている。公務員に圧力をかける前に、政治家自身の提案が本当に成果や効果があるのかを一度見直すべきだと、自戒を込めて申し上げる。

(2) 子どもの貧困対策について

教育応援基金について、料金受取人払いのハガキを組み込んだ周知用のパンフレットを作成し、金融機関に基金専用口座を設けるなどの取り組みを評価する。今後も意欲と能力のあるすべての子どもたちが、希望を持って学ぶことができる環境整備に取り組んでいただきたい。

また、子どもの貧困対策に向けた実態調査については、対象や項目など、専門家の意見も取り入れながら、実施するとともに、「藤沢市子ども子育て会議」において、活発な意見交換と計画策定に向けた議論を行っていただきたい。

(3) 図書館について

図書館は単に「本を借りて読む」だけの施設ではなく、「住民参加の運営によって自治意識を涵養する施設」「地域の課題解決に資する施設」「ビジネス支援に資する施設」そして「居場所」である。

藤沢市の図書館は、多くのボランティアと市民が関わって、市民参加型の図書館となっている。

今後も「市と市民による・市民のための図書館」という藤沢のよき伝統を継承し、市民と行政との協働の継続をお願いしたい。

(4) 市職員の働き方改革について

昨年夏に実施したワーク・ライフ・バランス強化月間の取り組みに対する状況調査の報告がまとめられた。意識改革は一歩進んだようだが、変則勤務職場の課題も浮き彫りとなった。業務の平準化、適材適所への人員配置など再度の見直しを行うとともに、具体的な取り組み方を再考し、新年度の「働き方改革」は理事者のトップダウンで、病院も含めた「聖域のない改革」を進めていくことを強く求める。

(5) 待機児童解消について

待機児童解消に向け、市として法人等による保育所の増設あるいは定員拡大を図っているが、保育士の確保ができず、4月入園で定員まで受け入れができない認可保育所があった。横浜市では認可保育所が保育士不足により休園という事態が起きており他人事ではない。待機児童解消に向け、今、優先させるべきことは何かの再検討をお願いしたい。

(6) 誰一人取り残さない、持続可能なまちづくりについて

SDGs(持続可能な開発目標)のスローガンは、「人間中心」「誰一人取り残さない」社会の実現であり、SDGsの達成により、環境や教育をはじめ、あらゆる施策に当てはめ活かすことができると考える。

福祉においては、市内でダブルケア、トリプルケアといった過酷な事例も報告されている。親の代わりに子どもが介護するヤングケアラーや男性単身者の介護後の引きこもり等の対策も求められる。他人事ではなく地域の仲間として当事者に寄り添うことができるまちづくりの実現に向け全力で取り組んでいただきたい。

1. 市民病院について

①経営の健全化について

市民病院の経営健全化に向けた取り組み状況について、報告がされました。収支改善に向けては、「退院支援の強化」「がん患者、分娩の受け入れ促進」など、計 24 項目を推進することで経営を改善し、持続可能な病院経営をめざすとしています。

収支状況は、現時点では、当初予算で計上していた経常損失約 16 億 5,800 万円は、約 5 億円程度縮減できる見通しです。今後、診療体制の強化が必要となることから、職員の定数を増員する条例改正が行われました。

②駐車場料金等について

7月にグランドオープンとなり、駐車場もリニューアルすることに伴い、受益者負担と経営健全化の観点から、駐車場料金の見直しとして、これまで無料だった「外来受診」「見舞い」について有料化が検討されています。

また正面ロータリーに路線バスが乗り入れるようになり、利便性が向上します。

2. 六会中学校体育館の改築について

六会中学校の体育館は、建築後 50 年が経過し、老朽化が進んでいることから、「第 2 次藤沢市公共施設再整備プラン」に位置付けて、再整備を進めることとしています。

今回、基本設計(案)が議会に報告がされました。

設計事務所から 3 つの配置計画案の提案があり、教職員、PTA、自治会、近隣住民等の関係者からの意見をもとに検討した結果、既存の前庭(芝生広場)に、1 階に武道場、防災倉庫、部室、付属施設、2 階に屋内運動場関係施設を配置する案に決まりました。本体工事費は、9 億 3,764 万 6,000 円と見込み、平成 30 年 9 月～平成 32 年 1 月の建設工事を予定しています。

3. 藤沢市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し

現行の「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」は、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の計画期間として定めているところですが、事業計画策定時の推計と比較して、就学前人口(0-5 歳人口)や保育ニーズの推計に一定の開きがあることから、事業計画の中間見直しを行いました。

保育(2号・3号認定)の量の見込みについては、今後、2 ヶ年において、入所申込割合が「年 2%ずつ増加する」と推計し、単純に全体の定員数から利用申込者数を引いたところ、平成 30 年度は 362 人、31 年度は 369 人不足する計画となっています。

それに対応するために、平成 30 年 4 月には、認可保育所、小規模保育事業所の新設などで、前年比「497 名」の定員拡大を図ります。さらに、平成 31 年 4 月に向けては、認可保育所の公募「256 名」、施設整備による定員拡大「97 名」により「353 名」の定員拡大を図る見込みです。平成 32 年度以降については、平成 30 年度中に一定の方向性を定めた上で、議会に報告する予定です。

4. 予算等特別委員会の改革

予算・決算特別委員会での審査に際して、事業内容、予定や実績を聞くなどの単純な質問が多く、時間ばかりが経過する傾向があることから、藤沢市議会改革検討会において、部会を設置して検討した結果、今議会の予算等特別委員会から、市が作成している事務事業評価シートを審査資料として採用することとしました。

私は、全ての予算委員会を傍聴しましたが、一定の効果はあったものの、依然として単純な確認の質問が多かったと感じました。質問をするには目的や狙いが必要であり、それがないのであれば質問する意味はありません。さらなる改革を求めています。

5. タブレット議会の試行

今議会から、タブレットを使用した議会運営の試行が始まりました。議会の資料は大量にあり、全議員に配布する資料を考えれば、相当な量の紙資料となります。ペーパーレス化による環境負荷の低減、資料差し替え時における職員の負担軽減、会議の効率化などを踏まえて、試行が始まりましたが、私は、既に今議会で配布された紙資料は見えていません。1 年間は試行として紙資料も配布していますが、これも希望性にしていいと考えています。

今後、試行段階での課題を検証して本格実施に移行していきます。

おおや 徹ホームページ

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたコラムなど、写真も多く掲載しながら書き綴っています。

議会情報は自分の入っていない委員会もほとんど傍聴して素早くアップしています。ダイジェスト版となっているので、「議事録を見るのはちょっと・・・」という方は是非ご覧ください！



おおや 徹

検索

もしくは

QRコード



シュクリアの「カレー」



これで普通盛り！！

貫徹通信を配るため、地域まわりをしているときは、昼食が一番の楽しみです。また、私の趣味が温泉・食べ歩きなので、市内飲食店を食べ歩き、ホームページや Facebook で紹介しています。

今回紹介するのは、藤沢駅北口、遊行通りにあるカレーの「シュクリア」。

この店は、かつて丸井(現ビックカメラ)の地下にあったお店で、当時、大辛カレーを完食した高校生たちが、色紙にその思いを描いていました。しかも、このカレーは、とにかくご飯の量が多いのです。私も最近、中盛りは食べられません。